

SHARE YOUR IDEAS
Young Investigator
Forum 2014
in NTMC

2014年度 若手研究者発表会

開催日 2014年12月25日(木) 16時～18時過ぎ
場所 病棟会議室
主催 臨床研究センター

セッション1

座長

岩田 岳(分子細胞生物学研究部長)

- ・簡易型フリッカー網膜電位計(RETeval™)による錐体機能評価 中村 奈津子(視覚研究部)
- ・滲出型加齢黄斑変性感受性遺伝子ARMS2-HTRA1のプロモーターの解析 家島 大輔(分子細胞生物学研究部)
- ・網膜神経細胞死によるグリア細胞の前駆細胞化の多様性 須賀 晶子(分子細胞生物学研究部)
- ・院外心肺停止例における生存退院に関連する因子と生存退院率の経年的変化 宮田 宏太郎(循環器内科)

セッション2

座長

尾藤 誠司(臨床疫学研究室長)

- ・急性膵炎における超音波検査での重症度判定の有用性 奥井 悠友(生理検査室)
- ・造血幹細胞移植患者へのスキンケア教育への取り組み 松本 三恵(看護部7A)
- ・前立腺癌ヨウ素(I-125)シード線源永久挿入小線源療法を受けた患者家族の治療に関する情報についての調査 近江 麻理(看護部外来)
- ・CGMを用いた血糖変動の観察研究 隠塚 恵(栄養管理室)

セッション3

座長

角田 晃一(人工臓器・機器開発研究部長)

- ・近隣7病院における冠動脈血管造影検査入院パスの比較検討 赤木 祐貴(薬剤科)
- ・体幹部CT検査におけるvPHを利用した被爆低減 相澤 功(放射線科)
- ・胃十二指腸潰瘍の既往は上部消化管出血患者における内視鏡的止血術の要否に対する独立した予測因子である 高取 祐作(消化器科)
- ・大腸憩室出血全例に内視鏡的止血術を施行すべきか？
～再出血リスク因子に関する後方視的コホート研究～ 佐藤 道子(消化器科)
- ・鼻咽腔閉鎖機能の客観的評価方法の開発と臨床応用 小林 理香(人工臓器・機器開発研究部)

セッション4

座長

藤井 正人(聴覚平衡覚研究部長)

- ・エピジェネティクス調節剤によるDBAマウス難聴進行抑制の分子機構 務台 英樹(聴覚平衡覚研究部)
- ・遺伝子解析を行ったAuditory NeuropathyにおけるDPOAEの経過 北尾 恭子(聴覚平衡覚研究部)
- ・慢性期めまいのリハビリテーション効果の検討 栗山 陽子(リハビリテーション科)
- ・初診時めまい問診票の自由記載内容による患者の特性の検討 五島 史行(平衡覚障害研究室長)

終了後、懇親会(コーヒーとケーキ)もあります

問い合わせ 務台(内線6516)、峯岸(内線6604)